

「就職活動体験記」

植物生産環境科学科4年 Aさん

この就職活動体験記を通して、少しでもこれから就職活動を迎える皆さんの参考になればと思い、大まかにどのような流れで就職活動を進めたのかお伝えします。

私は、農業系の公務員試験のみを視野に就職活動を行ってきました。受験した試験は、国家公務員試験と地元の県庁の試験になります。主に、国家公務員を目指して就職活動を行いました。

国家公務員試験は1次試験(筆記試験)が6月に予定されていたので、まずはネットや本屋で参考書や問題集を探し、去年の夏頃から試験勉強を開始しました。公務員講座は受講していなかったので、自分である程度の勉強ペースを決め、研究室やバイトなどと折り合いをつけながら勉強を進めました。とにかく問題量が多く、範囲が広いのが公務員試験なので、どの部分で点を取ってどの部分を捨てるかを考えながら勉強していました。コロナの関係で開催期間の延期・短縮がありましたがインターンシップに行くことができ、自分の就きたい仕事の生の現場を見て体験して、より勉強のモチベーションを上げることもしました。

そして、4月と5月に併願先の地元の県庁の試験を受けました。県庁の試験はSPIでの実施だったため、国家公務員試験の勉強の負担にならず勉強でき、また公務員試験の面接がどういう雰囲気で行われるのか掴むこともできてとてもプラスな面が多かったと思います。また、ここで県庁が受かったことで、とりあえず就職先があることの安心を得て、6月に国家公務員試験1次試験を受けることができました。ただ、公務員試験のきついところは、個人的には長い間モチベーションを維持し続けることだと思っています。公務員試験では内定をもらえるのが企業に比べて遅く、私は周りの友達は就活が終わっている中で、自分はいまだ終わって無いことがモチベーション低下に繋がっていました。丁度この時期が国家公務員試験1次試験の結果が出るあたりで、2次試験の面接に向けてまた気持ちを立て直すのが大変だったことを覚えています。周りに同じように公務員試験を受ける人がいればお互いに励ましながら乗り切ることをおすすめします。

面接試験の対策は、一般的な面接時のマナーを覚え、質問されそうなことをひたすら書き出してイメージトレーニングで乗り切りました。県庁と国家を受けて思いましたが、公務員試験の面接は自身の面接カードや履歴書から掻い摘んで質問が来るので、連想しやすく、企業の面接よりは対策しやすかったと思います。また、国家の前に県庁の面接を経験していたことと、接客業のアルバイトをしていたおかげで、緊張しても人前で話すことへの慣れで何とかこなった部分もあるので、場数を踏んでおくことはいいと思います。

以上のように長い期間勉強と面接対策を行った甲斐もあって、8月に国家公務員試験に合格することができました。

ここまで長々と自分の就職活動体験について述べてきて、あくまでも一例に過ぎませんが公務員試験の流れや雰囲気がちょっとでも掴めてもらえたら嬉しいです。きつい部分も多いと思いますが、皆さんの就職活動の成功を心より応援しております。

『公務員試験突破へ』

森林緑地環境科学科 4年 Bさん

これから就職活動を始めようとしている皆さんに、少しでも私の就職活動の経験談が役立てばいいなと思い、このメッセージを書いています。私は民間企業の就職活動はせず、公務員試験(県庁専門職上級試験)のみ受験しました。ですので、地方公務員試験の受験を考えている人に特に参考になるメッセージかと思います。

それでは早速、私の経験から公務員試験突破へのポイントを伝えたいと思うのですが、そのポイントは大きく分けて2つあります。1つ目は、「自分を知り、相手を知ること」。そして2つ目は「とにかく繰り返すこと」です。

①自分を知り、相手を知ること。

公務員と一概に言っても国家公務員、地方公務員など様々です。試験方法や試験教科も異なってきます。ですからまずは、自分が公務員になってやりたい事は何かを知るため、そして公務員とはどのようなものかを知るためにも情報収集が大切です。面倒に感じるかもしれませんが、しっかりと情報収集しておけば面接試験のときにも大いに役立ちます。

そして、自分が受験したい場所が決まれば、ぜひインターンシップに参加してください。インターンシップに参加することで、公務員の仕事に関する理解が深まるだけでなく、面接試験のときの話題にも使えます。私自身は、大学3年の夏休みを利用して志望する県庁のインターンシップに参加しました。その際にお世話になった方が、面接試験の面接官の一人で、私の事を覚えてくださっていたためリラックスして面接を終えることが出来ました。インターンシップに参加していると、もしかしたら皆さんにもこんなラッキーなことがあるかもしれませんよ！

②とにかく繰り返すこと。

次は試験勉強に関するポイントです。公務員試験勉強はとにかく繰り返しが大切です。私は志望する県庁の筆記試験が4月だったため、それに向けて大学3年の夏から専門教科の試験勉強を始めました。使った問題集は1つだけで、研究室の先生からおすすめされたものです。この問題集をとにかく何回も何回も繰り返し解きました。並行して、問題集の中で自分の苦手な部分をまとめたノートを作りました。教養試験については、私はSPIでの受験だったため、大学3年の1月頃から対策しました。SPI対策も専門試験同様、1冊の問題集を繰り返し解きました。

面接試験の対策は、筆記試験の合格発表が出た後、1か月間の短期集中で対策しました。公務員面接試験対策の本を1冊買い、初めの1週間で質問に対する回答集を作り、残りの3週間で大学のキャリア支援を活用して、面接練習を繰り返し行いました。とにかく数をこなして、面接の雰囲気になれるようにしました。

最後になりますが、就職活動はつらい事がたくさんあると思います。でも、今の努力で自分の将来が変わります。努力がいつか報われることを信じて、頑張ってください。皆さんの成功を心よりお祈りします。

就職活動を経験して

応用生物科学科4年 Cさん

私の就職活動は、3年の9月から始まり、4年の6月に終わりました。たくさんの民間企業をうけましたが、最終的に自分のやりたいことができる企業に入社することを決めました。私の就活が皆さんの就活の参考になれば幸いです。

はじめに、私の就活を簡単にまとめます。

志望業界	食品業界メイン(化学系も)、中小企業のみ
就活サイト	「マイナビ」「リクナビ」を併用。 ONE CAREER、みんなの就職活動日記をES作成に使用
説明会参加	全部で約50社(オンライン合同説明会：8~10社、オンライン個別説明会：35~40社、対面説明会：2社)
エントリー・ES提出	約30社(ES通過：約25社)
1次面接通過	16/25社
最終面接・内定	8/8社(食品メーカー：5社、その他：3社)

説明会はオンライン開催が多かったため、就活の軸に当てはまる企業の説明会には、業界関係なくすべて参加しました。説明会后、気になる企業にはすべてESを提出しました。ESは、志望理由などが掲載されているサイトを参考に書きました。そして、ESが通過した企業の一次面接はすべて受けました。一次面接までうけた理由としては、ふたつあります。ひとつは、人事以外の雰囲気を知りたかったからです。ふたつめは、面接を経験することで自己理解が深まると気付いたからです。私は、面接を録音して、面接終了後に内容をまとめていました。質問に対する自分の解答をまとめることで、自分のやりたいことや企業へ望むことを具体的に見つけることができました。二次面接以降はそれまでの面接の録音を参考にするため面接対策がしやすくなります。面接の録音はおすすめです。また、第一志望である食品業界以外の業界をうけている理由は、食品業界自体の倍率高いので、卒業までに内定がないという状況を避けるためです。比較的選考がはやく採用人数が多い研究者アウトソーシングと半導体の企業をうけました。はやい時期に内定が出るため、その後の就活に対して余裕をもつことができました。

最後に、私はたくさんの企業をうけましたが、数をこなす就活は皆さんにおすすめできません。なぜなら、時間と労力、メンタルがごりごり削られるからです。この方法のいい点をひとつ挙げるとしたら、志望度の高い企業の面接に向けてたくさん練習ができることです。就活が進むにつれて面接の合格率は格段に上がり、志望度が高い企業から内定を頂くことができました。

私はこのように就活を行ってきましたが、人によって就活はさまざまです。自分に合う就活を見つけることが成功の秘訣だと思います。皆さんの成功を心より願っています。

就職活動体験記

畜産草地科学科4年 Dさん

はじめに、私の就職活動の概略を説明させていただきます。志望業種は食肉業界で、就職活動を開始したのは学士3年生の後期からでした。実際にエントリーした企業は6社、そのうち内々定を頂けたのは4社です。

私は、宮崎大学の畜産草地科学科と学生団体に所属し、次のことを学びました。普段何気なくスーパーで手に取る「お肉」、それらは当然ですが「家畜の命」と「生産者の多大な労力」その他多くの方の尽力により、私たちの食卓に届いています。そのような直接は私たち消費者の目には見えない「命」や「労力」といった生産現場の実情を大切にしたいと考え、食肉関係の企業へ就職することを決意しました。

私が就職活動を経験し、伝えたいことは「就職活動解禁前の準備の重要性」です。就職活動解禁は毎年3月でこの日以降企業は説明会や選考を始め、続々と募集が締め切られます。その準備段階として一般的には「自己分析」を行います。自分の長所は？短所は？自分はどんな大人になりたい？など考えることは様々です。しかし、その自己分析の中でも「自分が何をしたいか」を考えることが就職活動の最初の段階であり、決して目を逸らし、後回しにしてはいけない事柄だと考えます。

皆さんは、将来どんな仕事につき何のために働きたいですか？「お給料がすべて！！」

「実家から通えるところ！」「どこでもいい。」人によって回答は様々でしょう。今ご自身が思い浮かべた回答に「なんで？」と聞きたいと思います。「なんでお給料がすべて？」

「なんで実家から通えるところ？」「なんでどこでもいいの？」この質問に答えることはできますか？答えられた方はその回答にも「なんで？」と問い返し、再度回答してみてください。そうして、何度も自分に「なぜ？」を問いかけ、自分の考えを再認識することが就職活動を攻略する鍵になります。実際に企業の面接でも「なぜそう考えたのですか？」など「なぜ？」を問われることほとんどです。そのため、私の面接対策方法として、企業から問われそうな質問をリストアップし、その質問に自分自身で答え、その回答に対しても「なぜ？」と問うことを複数回繰り返し、これを予想されるすべての質問に対して行いました。この方法を通して、自己分析・企業情報調べ・面接対策を同時並行で行うことができるのでぜひ参考にしてください。

新型コロナウイルス蔓延による影響で就職活動も面接をZOOMで行う企業が増え、今後同様の面接スタイルになるのではないかと思います。過去の就職活動と異なり、企業説明会や一次・二次面接の負担となっていた移動費が不要となるので、希望する企業が遠方にある場合でも諸費用を気にせずエントリーすることができるようになりました。今後企業調べと同時に自己分析を行い、自分が何を考えて「これまでの・これから」の選択をしていくかを面接・ESで誠実に熱意を持って表現することがあなた自身の武器になります。

これから就職活動を迎えるみなさん、大変だと思いますが頑張ってください！！